

次期の見通し(2022年3月期)

売上収益

3,450億円 前期比 **11.5%増**

抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は、薬価再算定の影響があるものの、非小細胞肺癌一次治療での使用拡大、胃癌一次治療への参入を見込み、112億円(11.3%)増の1,100億円を予想しています。また、主要新製品の売上拡大、新製品の発売およびロイヤルティ収入の増加により、次期の売上収益は前期比357億円(11.5%)増の3,450億円を予想しています。

営業利益

1,030億円 前期比 **4.7%増**

売上原価は製品商品の売上増加に伴い94億円(11.0%)増の950億円、研究開発費は持続的成長を実現すべく96億円(15.4%)増の720億円、販売費及び一般管理費は営業活動経費の増加や積極的な情報基盤投資により48億円(6.9%)増の740億円と見込んでおり、次期の営業利益は前期比47億円(4.7%)増の1,030億円と予想しています。

税引前当期利益

1,050億円 前期比 **4.1%増**

金融収支等を前期比6億円(21.8%)減の20億円と見込んでおり、次期の税引前当期利益は前期比41億円(4.1%)増の1,050億円を予想しています。

親会社の所有者に帰属する当期利益

815億円 前期比 **8.1%増**

法人所得税を20億円(7.8%)減の234億円と見込んでいることから、次期の親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比61億円(8.1%)増の815億円を予想しています。

注)新型コロナウイルス感染症により、引き続き一定の活動制限が継続されることを想定しておりますが、営業利益に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示します。